

松山大学公開講座

[講座紹介] 令和 8 年度の松山大学公開講座のテーマは「現代社会をさまざまな視点で見る」です。松山大学の教授陣によるわかりやすい解説のもとに、現代社会をさまざまな視点から見る力を養っていきましょう。

時間

土曜日 13:30~15:30

場所

生涯学習センター

定員

50 名

受講料

3,000 円

回	日 程	テーマ (内 容) / 講 師
1	5 月 23 日	<p>「性差別とポジティブ・アクション」</p> <p>女性差別の歴史と憲法上の平等原則を手がかりに、ポジティブ・アクションやクォータ制の意義と課題を考えます。国内外の制度や女子大学設立の背景も参照し、現代における平等と公正のあり方をともに検討します。</p> <p>講師 井上 一洋 (法学部教授)</p>
2	6 月 13 日	<p>「健康とお薬のちょっといい話」</p> <p>私たちの生活の中でお薬は欠かせないものとなっています。普段の暮らしの中で健康やお薬について疑問に思うことはありませんか？ちょっとした知恵と工夫でお薬はもっと効果的にそして、少しの知識でより健康的な暮らしをしてみませんか。</p> <p>講師 山口 巧 (薬学部教授)</p>
3	7 月 4 日	<p>「流れと生成 AI」</p> <p>空気や水の動きを記述する流体力学は、移ろいを数学的に記述する学問として、生成 AI にも色濃く利用されている。本講義では、流体力学が生み出す生成 AI コンテンツの最前線に迫ります。</p> <p>講師 松浦 一雄 (情報学部教授)</p>
4	7 月 25 日	<p>「薬の適正使用を分子レベルで考える」</p> <p>薬の適正使用は服用効果を上げるために必要である。本講演では薬の適正使用の必要性を学問的に見ていくことを目的に、「生体分子や薬が(いい意味でも悪い意味でも)機能を発揮する仕組み」について、いくつかの例を挙げて分子レベルで解説していく。</p> <p>講師 畑 晶之 (薬学部准教授)</p>
5	9 月 5 日	<p>「ゲーム理論の世界」</p> <p>この 20 年くらい経済学や行動科学などさまざまな学問分野で「基礎」とされている「理論」という考え方があります。将棋やチェスなどのゲームのもっとも基本的な考え方です。今回の講座ではこの考え方を具体例を交えて紹介します。</p> <p>講師 安田 俊一 (経済学部教授)</p>

回	日 程	テーマ（内 容）／講 師
6	10月24日	<p>「あなたの身近にある半導体の世界」</p> <p>大規模半導体集積回路（LSI）は、膨大な情報を高効率に処理・学習する生成 AI 技術の発展に大きく貢献しています。本講座では、この技術を支える半導体デバイスの製造工程を川上から川下まで俯瞰し、最新の半導体デバイスにおける微細なトランジスタ構造について紹介します。</p> <p>講師 榎田 毅彦（情報学部教授）</p>
7	11月14日	<p>「ソングライター浜田省吾さんの軌跡」</p> <p>昨年12月に73歳を迎えた浜田省吾さんは、昨年からホール会場で18都市28公演を行い、1月11日には松山市で公演し現在はアリーナツアーを行っている。新居浜市でも1982年の「ON THE ROAD '82」において新居浜市市民文化センターで公演を行っている。こうした愛媛での浜田省吾さんの軌跡を通して受講生の皆さんと「音楽の持つ力」を再確認したい。</p> <p>講師 植田 佳宏（人文学部准教授）</p>
8	11月28日	<p>「『プレイス・ブランディング』による地域づくり」</p> <p>地域の特産品頼みの「地域ブランディング」は基本的なアプローチですが、限界を迎えています。モノだけにこだわらない多様なアプローチによる、「プレイス・ブランディング」をご紹介します。</p> <p>講師 山崎 義広（経営学部准教授）</p>
9	12月12日	<p>「愛媛県の清酒製造業史」</p> <p>意外にも知られていない愛媛県の清酒製造業史。在来産業としての清酒製造業の歴史的展開に照らしながら、諸資料から明らかになった戦前～現在の県内清酒製造業の立地・変遷を紹介します。</p> <p>講師 藤井 孝哉（経済学部講師）</p>
10	1月16日	<p>「環境政策と企業統治改革に関する日独比較」</p> <p>温暖化対策と経済成長の両立を目指した欧州の「グリーンディール」が正念場を迎えています。主要国ドイツと日本を比較しつつ、環境と企業統治の観点から分析します。</p> <p>講師 片山 哲哉（短期大学教授）</p>